



校是

自主共同

奥州市立胆沢中学校 グランドデザイン100

《学校教育目標》

郷土を愛し、心豊かで逞しく、自ら未来を切り開く生徒の育成

時代の要請(学習指導要領から)

よりよい社会と幸福な人生を切り拓く未来の
創り手となるために必要な「生き方」を育む
↓
より良い学校教育を通じてより良い社会を創る
↓

社会に開かれた教育課程

(カリキュラムマネジメント)

「何ができるようになるか」「何を学ぶか」
「どのように学ぶか」

★地理・産業

焼石連峰の雄大な自然
水に恵まれた胆沢扇状地
広がる豊かな水田地帯
胆沢ダムと温泉
国内屈指のカヌー競技場
隣接する多くの公共施設
★人・気質・地域性
誠実で素直な人柄
高い自己有用感
地域への高い愛
神楽等の伝承活動の継承
旺盛なボランティア精神

★地域の協力

各地区振興会との連携
学校支援地域本部の活用

★外部との連携

特色ある近隣高校との連携
小中一体となった教育実践

★恵まれた学校施設

体育館、広大なグラウンド、
専用野球場とテニスコート
木のぬくもりがある校舎

・公立学校の
・力による定着と向上を図る
・地域の活性化に寄与する

【めざす学校像】

安心安全 生き生き授業 さわやか挨拶
清掃・整頓 時間管理 元気発信

【めざす生徒像】

誠実 礼節 健康 探求 創造

【あるべき教師像】

研修 愛情 指導 連携 協働

学校支援地域本部の活用
コミュニティスクール
設立に向けての準備

R4年~2117年~
安定・発展
充実期

学校運営協議会
(コミュニティスクール)

持続可能な教育
システムの構築

令和8年度学校経営方針

開校10年目を迎えた胆沢中学校の教育活動を、
さらに円滑かつ持続可能な活動へと定着させ、
学校教育目標とめざす生徒像の具現化を図る。

- ア 基礎学力の向上、自己調整能力の育成
イ 自治活動の推進
ウ 公德心を高める指導(TPO・・・礼儀、マナー等)
エ 多様な特性への対応(別室運営、特別支援教育)
※【経営上の課題】学校規模に合わせた業務の見直し
(部活動や校内分掌、行事等)

強みを生かした
特色ある学校経営

理数教育の推進
科学体験研修への参加

H29~30年
黎明期

《求める保護者の姿》

《期待する地域からの支援》

◎地理・産業

- ・広範囲の学区(愛宕地区から最長15kmの通学)
- ・多様な地域性(市街地と農村地域の混在)
- ・地域産業の後継者不足や地場産業の停滞

◎地域・家庭

- ・三世同居と地域による教育力の確保
- ・学校への協力を惜しまない地域性

- ・少子化による高齢化と過疎化の波
- ・急速に進む核家族化と要就学援助家庭の増加
- ・特別支援教育に対する指導体制の強化と充実

◎生徒

- ・SNS等のトラブルへの危険意識欠如
- ・ゲーム依存等による生活習慣の乱れ
- ・体力面の低下と肥満の増加
- ・バス通学が約3割、送迎の常態化
- ・対人関係に問題を抱える生徒の増加
- ・不登校と別室登校生徒の増加
- ・多様な特性を持つ生徒の増加
- ・他地域の高校への進学増加

◎学校

- ・時代の要請に則ったいじめ対策の徹底
- ・多様な部活動・校外活動への対応

★生徒の願い

- ・希望の高校に進学したい
- ・人の役に立ちたい
- ・将来の夢を実現したい
- ・充実した中学校生活を送りたい

★保護者・地域の願い

- ・安心安全な学校に通わせたい
- ・将来につながる力を身につけさせたい
- ・地域に関わる活動に携わってほしい
- ・胆沢に戻って地域を盛り立ててほしい
- ・胆沢を出ても社会に通用する人間になってほしい 等

地域と繋がり、未来へ
繋ぐ、愛される学校

自己
有用感

地域の
未来

誇れる
地域

★人とのかかわる

★情報社会を
賢く生き抜く

郷土胆沢の
良さの発掘
+情報発信



元気発信

- ・校報「えぐね」の
地域内全戸回覧
- ・学校ウェブページの
適宜更新
- ・学校配信メールによる
迅速な情報発信



いつまでも

住み続けたい地域
住み続けられる地域
自慢できる地域

強み

H29.4
開校

若柳中

南都田中

小山中

現状と課題